



## 北区役所のSDGs目標は「11.住み続けられるまちづくりを」

SDGsは持続可能でよりよい世界をめざすための国際目標です。

大阪市では、大阪・関西万博が開催される令和7年度をひとつの節目として、各区における「わが区」に親和性のあるSDGsゴールを設定することとし、北区役所は「11.住み続けられるまちづくりを」を選定しました。

北区将来ビジョンに掲げる「人が集い、ともに支え合い、絆をはぐくむまち」をめざします。

☎ 総務課  
☎ 06-6313-9625  
FAX 06-6362-3821



【北区役所が取り組んでいる内容】

●防災の出前講座において、防災とSDGsの関連について説明・啓発

●区民カーニバルにおいて、ごみの分別など環境に配慮した行動について周知・啓発

●夢キタ万博2025において、古着を活用したSDGsファッションショーやSDGsシールラリーなどを実施

●子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、「子ども110番」運動の周知・協力依頼



## 第13回天神天満阿波おどり2025

阿波おどりのお囃子と踊り子の熱気が天神橋筋商店街を埋め尽くします。徳島県の有名連、徳島天水連も登場！

📅 8/31(日) 15:30~19:30

📍 大阪天満宮(15:30~18:00)、天神橋二丁目・三丁目・四番街商店街(18:00~19:30)

●前夜祭

📅 8/30(土) 17:35~18:30

📍 八軒家浜だんだん8(中央区北浜東1-2 川の駅はちけんや横)

●阿波おどり教室・天神天満阿波おどりフォトコンテスト

今年も開催します！詳細はホームページをご覧ください。

☎ 徳島県関西本部 ☎ 06-6251-3273 ☎ 06-6251-3380

✉ kansaihonbu@pref.tokushima.lg.jp



HPIはこちら▲

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑤9

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。毎月、区内の様々な活動をお伝えします。

認定NPO法人プール・ボランティア

## 障がい者に水泳指導 市民プールで一緒に楽しく

土曜朝の扇町プール。緑のスイミングキャップの障がい者に、青いキャップのボランティアがマンツーマンで付き添います。車いすでの入水、パタ足の練習、目標の距離…1時間余りの指導は、様々な障がいを抱える利用者に合わせて、それぞれのメニューで進みます。

理事長の岡崎寛さんと事務局長の織田智子さんは水泳経験者。同じプールで働くうち、「泳げる私たちが、何か社会の役に立っていないか」と話すようになり1999年、NPOを立ち上げました。会費を取ることにへの理解が得にくい時期もありましたが、自閉症の子を受け入れたのをきっかけに、口コミで利用者が広がりました。

「子どもが迷惑かけちゃいけない、と親は気疲れしがち。私らは一般のお客さんとの間の盾になって、楽しいプールにしてあげられる」と織田さん。その姿を親は観覧席で見守ります。岡崎さんは「年齢も3歳から50代まで幅広いので、小さい子の親にとっては、子どもの未来が見える安心感もあるのでは」と話します。

3つの市民プールで開催するクラスの利用者は年に延べ約4,000人。ボランティアも高校生から85歳まで様々で、利用者の特性に応じてマッチング、クラスが終わると利用者のノートに指導内容を記します。時に親のコメントを挟んで引き

継がれる成長の記録です。3歳で入会し、逃げ回っていた男の子は高校生になり、この日1キロを泳ぎました。

悩みはマンツーマン指導ゆえ、ボランティアが足りないことと受け入れられないこと。最近、扇町プールに木曜夜のクラスを作りました。「仕事帰りでボランティアに来てもらえればうれしいですね」



リクライニングできる車いすでプールに入る

プール・ボランティアのHP▶

(右から)理事長の岡崎寛さんと事務局長の織田智子さん

〈目標〉  
**3** すべての人に健康と福祉を  
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する  
《SDGsチャレンジ》  
プールで「共存共泳」しましょう

井上ミノルの

第3回 地域課防災担当編

## 区役所お仕事覗き見

防災計画立案や啓発活動、災害発生時の対応などを担うのが地域課防災担当です。災害時に使用する備蓄品の管理などについて聞きました。

